

CSR報告書2022

corporate social responsibility

2020・2021年度実績

企業理念(ミッション)

Mission

パナックが社会に果たすべき使命

私たちパナックは、新たな価値の創造と提供により、持続可能なより良い世界を創ることに貢献します。

経営ビジョン

Vision

パナックの将来像・あるべき姿

- ・私たちは、お客様満足を追求し、価値ある製品やサービスの創造に挑戦し続けます。
- ・私たちは、お客様・社会から信頼される企業であり続けます。
- ・ひとりひとりの能力と多様性、チームワークを活かし、誠実に行動します。

CONTENTS

TOP MESSAGE	3
本社移転 紙資源削減への取り組み.....	4
IATF 16949:2016認証取得	5
一般財団法人パナック財団.....	5
人権課題への取り組み.....	6
2020・2021年度 CSR活動計画と評価	11
組織統治.....	12
環境.....	15
公正な事業慣行.....	16
得意先課題.....	18
会社概要.....	19

編集方針

この「CSR報告書2022」はパナックの2020・21年度(2020年4月～2022年3月)のCSR活動についてまとめた報告書です。
パナックと関わりのある全てのステークホルダーの皆様、ならびに従業員各位にお読みいただきたいと考えています。

パナック株式会社 CSR委員会

TOP MESSAGE

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方、並びにご家族の方々に謹んでお悔やみ申し上げます。

また、罹患された方々へは心よりお見舞い申し上げます。

そして感染拡大防止にご尽力なさっている医療従事者、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスはまだまだ予断を許さない状況ですが、2020年初頭からの世界的流行により多くの社会的、経済的活動が停滞し、私たちの意識や価値観に大きな変化をもたらしました。

働き方についても同様、多くの変化を迫られました。

パナックは新型コロナウイルス感染症の対策として、ワクチンの職域接種の実施、出社前の検温、社内でのマスク着用厳守、営業・出張活動の制限(WEB会議の活用)、フレックスタイム(時差出勤)の導入、出社率20%(最大時)を目標としたテレワークを実施するなど、自衛対策を行ってまいりました。

そのような中、本社移転、IATF 16949:2016認証取得、一般財団法人パナック財団の設立支援など、パナックの新しい課題に着手してまいりました。

パナックは、プラスチックフィルムに新たな価値を創造し、お客様へ提供することに、挑戦しています。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

パナック株式会社

代表取締役会長 宮下 正博

CSR方針

企業は、社会に有益な製品・サービスを提供することで社会に貢献し、それにより企業価値を高めています。

また、同時に持続的な発展ができるよう、社会での活動を続けなければいけない存在です。

そのためには、経営の一環としてCSRが必須となっています。

- ・パナックは、取りまくあらゆるステークホルダーに対して果たすべき責任を認識し、経営を行います。
- ・パナックは、CSRという視点で社員・パナックの意識、意志決定、行動を行い、社会とパナックの持続可能性を高めます。
- ・パナックは、多様な個性・価値観を共有し、企業の成長をはかります。

今後も、パナックは、新しい価値を追求し、健全で幸福な社会の発展に貢献していきます。

本社移転 紙資源削減への取り組み

パナックは、2021年4月に本社を移転しました。

移転には1年以上の準備期間を設定し、一部の部署を除きフリーアドレス化を図り、社員へ多様な働き方を提案するオフィスを作り上げました。

コロナ禍での準備活動により、「テレワーク」「フレックスタイム制」「飛沫飛散防止」などの新型コロナウイルス対策をふまえたオフィスづくりを進めました。

また、あわせて「紙資源 約50%削減」活動を行いました。

これは、各個人が紙で保管していたデータ・資料を、

①部署で共有化し削減を図る

②紙データを電子化し削減を図る などを計画しました。

コロナ禍でのテレワークの導入は、今まで「紙」で行っていた業務を電子化することを促進した面があり、当初の削減目標を達成することができました。



IATF 16949:2016認証取得

ISO9001の認証に加えて、亀山工場・富士宮工場は、2021年10月に、自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格である「IATF 16949:2016」の認証を取得しました。

(IATF 16949:2016 箇条1.1に規定される弊社製品に適用)

また、海外関連会社である蘇州凡納克光電有限公司でも、2020年7月に同認証を取得しています。

今後も、グループ一丸となり、車載製品をはじめとする当社の製品やサービスの一層の品質向上に努めてまいります。

一般財団法人パナック財団

パナックは、プラスチックフィルムを扱うものとして、自然の恩恵に感謝し、地球環境の維持・改善のため誠意を尽くして自主的な努力をすべく、本財団の設立を決意いたしました。

そこで、持続可能な世界の実現へ向けて期待される研究開発への助成等を行うことにより、科学技術全般の一層の発展を図り、もって国民生活の向上と安定に寄与することを目的に、パナックの資金拠出により「パナック財団」を設立しました。

【法人概要】

名称：一般財団法人パナック財団

事業内容

- (1)地球環境に配慮した持続可能な世界の実現に向けて期待される科学技術分野における研究開発への助成
- (2)その他この法人の目的達成に必要な事業



人権課題への取り組み

【継続して取り組んでいる課題】

ワークライフバランスの推進

■年次有給休暇の積立保存制度

付与から2年後に消滅する年次有給休暇の有効活用を図り、福利厚生の上昇を図ることを目的に、年次有給休暇の積立保存制度を2018年に制定し、継続実施しています。

■育児支援

育児休業の取得希望者は、全員が育児休業を取得しています。

また、育児休業期間終了後、お子様の保育園への送迎のための育児短時間勤務の制度を設けております。

これは、法令で定めた小学就学前までの努力義務を超え、小学3年生までを対象としています。

育児短時間勤務を希望する者は、全員がこの制度を利用しています。

育児休業取得率:100%

育児短時間勤務利用率:100%

■過重労働対策

対応可能な職種についてはフレックスタイム制を導入し、働き方の多様性に注力しています。

また、時間外労働時間が超過する前に上司へ自動的に通知するよう人事システムを2019年に更新しました。

【2021年度 月間時間外労働60時間以上実績 のべ18件(約0.3%)】



■一般事業主行動計画

社員が仕事と子育てを両立させることができ、社員全員が働きやすい環境をつくることによって、全ての社員がその能力を十分に発揮できるようにするため、一般事業主行動計画を策定しています。

2014年4月策定・届出を行った「一般事業主行動計画」を、2020年に更新し、ノー残業デーの実施、育児休業取得率の向上に取り組んでいます。

また、有給休暇5日の取得義務に対して定期的に取得状況を把握し、上長へ取得を呼びかけることも実施しています。(2022年3月末時点で、対象者全員が取得実施)

1. 計画期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日までの5年間

2. 内容

目標1. 子育て休暇の取得促進をはかるため、制度の周知に努める。

目標2. 男性社員の育児休業取得を促進するための措置を実施する。

目標3. 所定外労働時間の削減を徹底する。

■メンタルヘルスの推進

本社では精神科の産業医を配置し、3ヶ月に1度、精神科の保健師を招き、「健康相談」も実施しています。

また、本社の精神科産業医と富士宮工場、亀山工場とも産業医契約をし、全社的な視点でメンタルヘルスに注力しています。

メンタルヘルスチェックの回答率は、2021年度92.6%でした。



労働安全衛生

次のような対策を継続して実施しています。

工場：安全パトロール・工場安全衛生委員会活動を毎月実施

本社：安全衛生委員会活動を毎月実施

主な施策

- ・労災事故 再発防止の徹底
- ・衛生管理者の職場巡視
- ・各部会(5S安全、防災、衛生)の安全活動

	労働災害	休業災害	不休災害
2020年度	1件	0件	1件
2021年度	6件	3件	3件

防災訓練

パナックでは、災害時に従業員の安全を確保するため、消防法などに基づき防災・避難訓練を実施しています。

・富士宮工場

富士宮工場は、「避難訓練」「消火訓練」「有機溶剤漏洩処置訓練」を毎年実施し、希望者には普通救命救急講習会をあわせて実施しています。

・亀山工場

亀山工場は、「通報訓練」「避難訓練」「消火訓練」を毎年実施しています。

・本社

2020年度は、防災訓練想定シナリオを作成・共有しましたが、新型コロナの影響を考慮し、訓練の実施は見送りました。

2021年度は、新オフィスに対応した「防災・BCP訓練計画」を立案し、9月に訓練を実施しました。

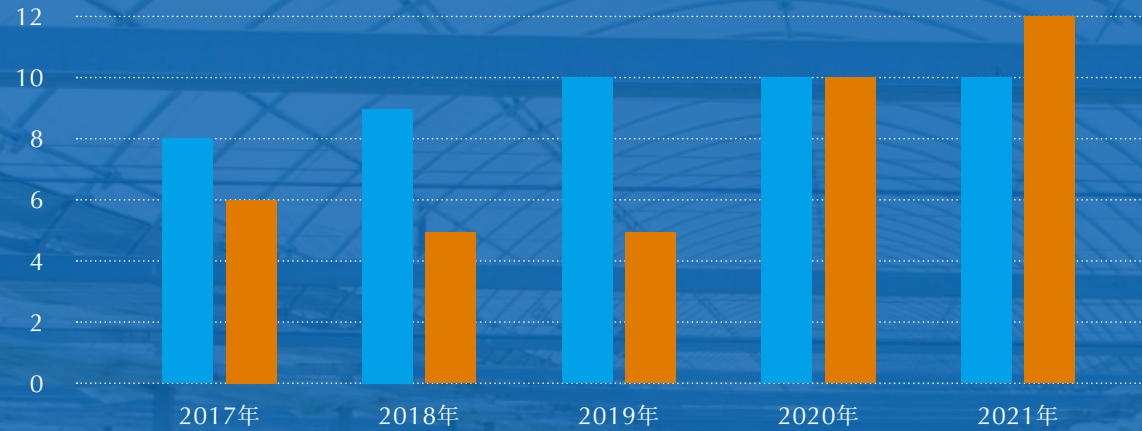


障がい者休暇・雇用の促進

障がいを持たれた社員については、通院のための特別休暇を付与するほか、新たに採用された障がい者に対し離職防止のため職場面談を実施するなど、就労支援を行っています。

障がい者雇用人数推移(過去5年)

■法定雇用数 ■パナック雇用数



■わーくはびねす農園の開設

2019年6月、農場長1名、スタッフ3名の体制で農園を開園しました。

活動内容として

- ・さいたま岩槻ファームにて、農作物の栽培作業
- ・育てた野菜を本社、工場の希望者へ配布
- ・野菜をきっかけとした、社員への食に対する教育を実施しています

これにより、障がい者の働く場を支援し(雇用義務)、社員の福利厚生充実や健康促進(健康経営)を図っています。

また、将来的には、ボランティア施設に寄付(社会貢献)することも視野に入れています。



【さらなる課題へのアプローチ】

女性従業員・管理職

パナックは、女性がより活躍できる雇用環境の整備を行うため、行動計画を策定しています。

パナック株式会社 女性活躍推進法 行動計画

計画期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日

内容

目標1. 管理職および主任職(係長クラス)に占める女性比率を15%以上とする

目標2. リーダー、管理職に向けたキャリア研修への女性参加比率を全体で10%以上とする

団結権ならびに団体交渉権の尊重

パナックでは、社員(労働者)の組合がありません。

これは、労使間関係に問題がなく、団結権ならびに団体交渉権を行使する必要がなかったため、会社側が、これらの権利の行使を阻害していた訳ではありません。

このことを明文化して明確にしています。

【新たな取り組み】

多様性を尊重した職場づくり

社会のグローバル化に伴い、パナックの活動の場所も国外に広がっています。

また、一緒に働く人も日本国籍以外の人々が、少しずつ増えてきています。

このような環境の中、社員の労働条件と国内法規制、国際労働基準との整合性の確認を全社で取り組む必要に迫られています。

・母国語による労働契約書

中文・英文の労働契約書を策定し、運用を行っています。また、英語及び中国語の会話スキルの向上を目的に、会社指定のコースを設け、費用補助(CD、WEB)も行っています



2020・2021年度 CSR活動計画と評価

7つの中核課題	主な活動計画	活動実績	評価	2022年の課題
組織統治	社会的責任への取り組み	・グループウェアを使用し、CSR委員会を開催	◎	CSR、リスク、コンプライアンスなど 全社的体系見直し 地震・防災以外の緊急事態訓練の実施
	リスク管理	・災害分野以外の機能強化の検討 ・リスク関連文書全体の体系的な見直し	○	
	BCP:継続的改善	・規程、マニュアル等の見直し実施 ・避難・防災訓練を実施	○	
	財務情報開示の拡充	・年度決算運用トライアルと課題のとりまとめ ・月次決算運用トライアル準備	◎	
	財務関連内部統制の向上	・各種規程及び細則の制定・改訂	◎	
人権	週60時間労働の周知徹底	超過者ゼロは未達成	○	超過懸念者へのアラーム継続・強化
	ホットラインの運用	・関連規程の改訂 ・窓口部署の変更	○	
	相談窓口の充実	・相談員のレベルアップ/外部窓口の設置	○	
	人権啓発の推進	・ハラスメント研修開催 2020年度:役員、管理職対象 2021年度:一般社員対象	◎	
労働慣行	安全衛生管理体制、運用基準の整備	・全社規程(安全衛生管理規程)制定、運用開始	○	健康経営に向けた準備活動(部会の発足) 育児休暇:法令改正対応
	健康診断、メンタルヘルスチェックの受診	・健康診断:全社受診率 98.4% ・メンタルヘルス:全社受診率 93%	◎	
	ワークライフバランス推進(有休取得)	・有休5日 未取得者人数 ゼロ達成	◎	
環境	グリーン調達基準書への反映	・グリーン調達基準書 定期更新	◎	カーボンニュートラルをプロジェクト化して取り組みを開始する
	省エネ:電力、LPGの使用量削減	・電力・LPG 削減目標を達成せず	○	
公正な事業慣行	汚職・腐敗防止対策	・経費承認時のチェックの徹底	○	
	安全保障輸出管理	・安全保障輸出管理の運用 ・社内勉強会の開催	◎	
消費者課題	QMS IATF16949取得に活動推進	・2021年10月 IATF16949認証取得	◎	
	公正・適切な情報開示	・アップデート未実施端末に対する是正監視の強化 ・テスト監視を実施	◎	
コミュニティへの参画及び コミュニティの発展	提案型貢献活動の実施	・個別の協賛のみ実施	△	財団への資金支援の継続
	コミュニティへの参画	・新型コロナ対策のため、活動を中止	△	

◎・・・・・・目標達成 ○・・・・・・目標の50%以上の達成 △・・・・・・目標の50%未満の達成

組織統治

コーポレートガバナンスの推進

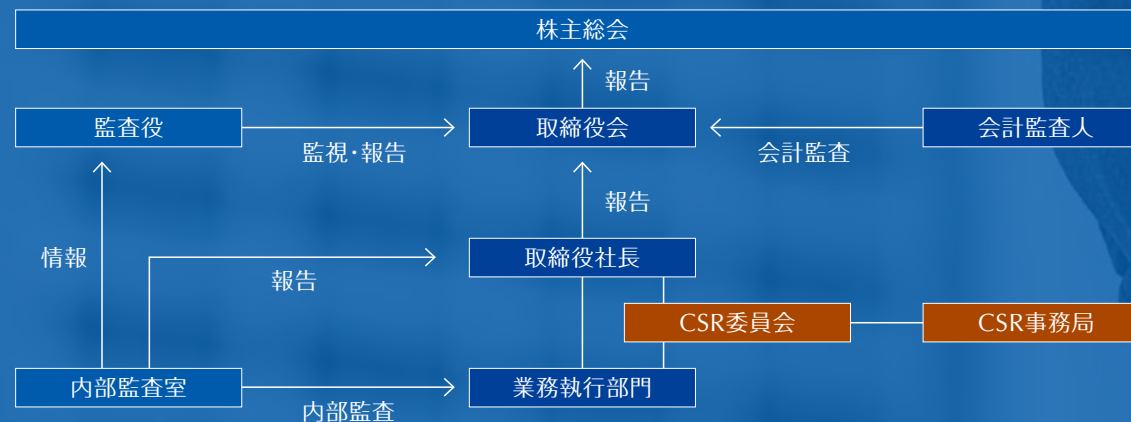
パナックは、経営理念を実現するために、経営の効率化、透明性、健全性の維持に努めています。

これらの活動により、継続的に企業価値を創造し、全てのステークホルダーから信頼され、満足いただける魅力ある企業を実現させ、社会とパナックの持続性を高めていきたいと考えています。

適正な監査を通して、現状の経営システムを最大限に機能させることにより、公正、透明、かつ迅速な経営執行を実現したいと考えています。

そのため、会社全体の内部監査機能を担当する部門として、内部監査室を設けています。

また、QMS内部監査実施時は、狭義の品質にとどまらず、「業務の品質」を監査することにより社内ルールの浸透も監査の対象としています。



社会的責任への取り組み

パナックは、2008年にCSR委員会、CSR推進室（現在は総務人事部内に移管）を新設し、CSR活動に取り組む体制を作りました。

CSR委員会は、社長を委員長として定期的に開催し、パナックのCSRに関する基本方針・総合施策の審議・決定とパナックで実施するCSR活動を総括しています。



通報・相談窓口の設置

パナックは、CSR推進の一環として社内外からの通報や相談を受け付けています。

■従業員向け通報窓口 「ホットライン」

パナックは、コンプライアンス違反や疑問が生じた場合に相談できる窓口として2008年9月に「ホットライン」を設けました。

従業員が電話・電子メールによって通報や相談することができる体制を設けています。

■すべてのステークホルダー様向け通報窓口 「コンプライアンスライン」

パナックは、従業員のコンプライアンス違反を防止するため、及び社会的要請を認識し各ステークホルダーとの友好な関係を築くことを目的とした通報窓口「コンプライアンスライン」を、2017年8月に設けました。

パナックの役員・従業員の、事業活動(研究開発に関する活動を含みます)における組織的または個人的な法令違反行為等に関して、「コンプライアンスライン」に通報・相談をすることができます。

■ハラスメント相談窓口の設置

パワハラ・セクハラなどハラスメントに関する問題が生じた時・見聞きした時、また、トラブルを未然に防止し、健全な職場環境を保つために、ハラスメント相談窓口を設置しました。

職場で抱える不安を整理するために、全従業員(正社員、嘱託社員、契約社員、パート社員、派遣社員)が利用できる窓口です。

社内相談窓口と外部に委託している社外相談窓口「職場のほっとテレホン」の2種類の窓口を2020年6月に開設しました。

尚、外部に委託している「職場のほっとテレホン」はコンプライアンスに関しても取り扱っております。



リスクマネジメント活動

パナックでは、内部統制の構築の一環として、リスク管理委員会を設置し活動しています。

2011年3月11日の東日本大震災以降については、特に大地震への対応を重点的に活動し、大地震発生時の社員の安全と顧客への製品・サービスの提供の確保を第一として、対策の検討や実行性と実効が期待できる手順を策定してきました。

2020年度は、リスク及び想定被害の再評価実施

2021年度は、緊急事態対応規定の対応を行ってきました。

リスク管理委員会では、BCP対応を中心とした緊急事態に対する活動を中心に行ってきましたが、リスク全般を対象とした取り組みを始めており、新たなリスクマネジメントの構築を目指して検討チームを2021年10月に発足しました。

緊急事態だけでなく、様々なリスクの抽出と予防に向けて取り組みを行ってまいります。

輸出関連法規の遵守

国際的な平和及び安全の維持を目的とする安全保障輸出管理を適切に実施することを目的に、リスト規制への対応に向けた安全保障輸出管理規程を制定し、運用を開始しました。

2021年6月に第4版を改訂施行、同8月には全社員対象に勉強会を実施しました。



環境

ISO14001マネジメントシステム

パナックでは、ISO14001マネジメントシステムにより、環境を意識した経営を行っています。

脱炭素社会に向けたカーボンニュートラルの取り組みも開始してまいります。

エネルギー消費量の削減

・富士宮工場

2021年度は、電力使用量の削減は、目標達成に至りませんでした。

・亀山工場

2021年度は、エネルギー使用量を0.8%削減(目標未達)。

化学物質管理

近年の欧州RoHS指令、REACH規制など製品に対する化学物質規制が急速に高まってきています。

このような背景により各種規制への対応を強化するため、グリーン調達基準書を制定・改訂しています。

サプライチェーンを含めた化学物質情報管理体制を推進し、お客様への情報提供(MSDS、RoHS分析データ)に注力していきます。

区分	対象物質
使用禁止物質	RoHS 指令対象物質、アスベスト、PFOS、ヘキサクロロベンゼン、ヒ素、ベリリウム等
管理物質	アンチモン、ポリ塩化ビニル、ヘキサブロモシクロドデカン等

<http://www.panac.co.jp/csr/greenProcurement.html>参照

公正な事業慣行

パナック企業行動憲章・行動規範

CSRを推進する上で、その担保であるコンプライアンス(法令遵守)に取り組む事は、必要不可欠です。

コンプライアンスは、言い換えればビジネス社会のルールの遵守です。

パナックのビジネス社会のルールとして、企業行動憲章・行動規範を2008年に制定し徹底を図っています。

2020年10月に第5版を発行しました。

購買基本方針

パナック購買部門は、「パナック企業行動憲章」及び「パナック行動規範」に基づいて、関係法令の遵守、公正な取引のもとで、必要な資材・サービス等を適切な品質・納期で調達し、お客様が求める価値ある商品の提供に貢献しています。

購買活動においても、お客様のご協力のもとで、CSR(企業の社会的責任)活動の推進に取り組んでいます。

サプライヤーとの関係

下請代金支払遅延等防止法を尊重し、優越的地位の濫用に当たる行為を防止することにより、取引の適正化に寄与することを目的として、下請事業者管理規程を2017年に制定し、運用しています。

グリーン調達

パナックは、グリーン調達の基本的な考え方「環境の保全に積極的に取り組んでいるお取引先様から、環境負荷の少ない資材を優先的に調達する」に基づき、グリーン調達活動を推進しています。

EUでは、2006年7月から「RoHS指令」が施行されていますが、2007年6月には「REACH規制」が施行され、製品に含有する化学物質に関する法規制が強化されています。

このような背景から、弊社では2006年に「グリーン調達基準書」を制定し、2021年7月に ver.13.0 と更新しています。

パナックでは、本グリーン調達基準書の遵守を、お取引先様との取引条件とさせていただきます。

紛争鉱物に対する基本姿勢

パナックでは、お客様に安心して製品をお使い頂くため、紛争鉱物に関する動向を監視しながら、お取引先様と協力して、製品に使用される鉱物の来歴の確認と紛争鉱物の不使用に向けた取り組みを進めていきます。

得意先課題

ISO9001マネジメントシステム

パナックでは品質保証体制を整えるため、国内外の各主要拠点でISO9001認証を取得しています。

パナック株式会社 品質方針

1. お客様に感動して頂ける品質を提供するため、企業活動すべての質の向上に努める。
2. 従業員一人一人が品質コンプライアンスの意識を持ち、法令を遵守する。
3. 柔軟な発想により、継続的なイノベーションを起こし、未来創造に貢献する。
4. サプライヤーチェーン全体で品質を作り上げ、企業の成長を図る。
5. 現地現場で現物・現実を確認し、現場やお客様の声を大切にする。

クレームへの対応

パナックでは、クレーム対応を最優先に行うことを定めています。

クレームの情報をデータベース化して、トラブル時には過去のクレーム・コンプレイン情報の集積から対応を把握し、迅速にお客様にフィードバックすることができます。

会社概要

Corporate Outline

会社名	パナック株式会社 PANAC CO.,LTD
設立	1979年1月12日(創業1933年)
本社所在地	〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号
資本金	3億1,000万円
代表取締役会長兼社長	宮下 正博
従業員	450名(2022年4月現在)
営業拠点	大阪営業所(大阪府)、名古屋営業所(愛知県)、尾道営業所(広島県)
生産拠点	富士宮工場(静岡県)、亀山工場(三重県)
関連会社	シエス株式会社(東京都)、台湾パナック(台湾)、香港パナック(中国)、上海パナック(中国)、蘇州パナック(中国)、パナックコリア(韓国)、深圳パナック(中国)、タイパナック(タイ)、パナックアドバンスドフィルムマレーシア(マレーシア)

事業内容

- ・メーカー各社の各種高機能プラスチックフィルムを、工業材料、電子材料分野に加工および販売
- ・富士フイルム株式会社特約店として「フジタック」、「WVフィルム」、その他各種産業材料の特約販売
- ・東レ株式会社の「ルミラー」、東レ・デュポン株式会社の「カプトン」をはじめとした加工及び販売
- ・微細藻類の培養、有機成分の活用
- ・ライフサイエンス、エネルギー関係事業
- ・加工技術
コーティング加工/ラミネート加工/プロテクト加工/マット加工/スリット加工/カット加工/抜加工/印刷加工 他

An aerial photograph of a sprawling city, likely Tokyo, with a dense concentration of skyscrapers and buildings. A prominent tower, the Tokyo Skytree, stands out in the center of the skyline. The city is surrounded by green spaces and parks. The sky is a vibrant blue, filled with large, fluffy white clouds that dominate the upper half of the image. The overall scene conveys a sense of a modern, thriving urban environment.

PANAC
For The Best Solution!